

1. 実況上の着目点

① 前線が南西諸島付近～奄美付近～四国の南を通過して日本の東にのびており、前線上の四国の南には低気圧があつて東北東進。低気圧や前線の影響で、低気圧周辺や前線近傍の海上では、30mm/1h程度の雨量を解析。南西諸島付近では大気の状態が非常に不安定となつており、先島諸島の近海では局地的に50mm/1h程度の雨量を解析。雷多数検知。

② 低気圧が日本海を北北東進。低気圧からのびるシアーラインの影響により、西日本～東北地方では、5mm/1h程度の雨量を解析。

③ 千島近海に中心を持つ高気圧と①の低気

圧や前線及び②の低気圧との間で気圧の傾きが大きくなっており、西～北日本の海上では、強い風が吹いて、西～東日本の太平洋側では、波が高くなっている所がある。

2. 主要じょう乱の予想根拠と解説上の留意点

① 1項①の低気圧は、24日は西～東日本の南岸を東北東進して、25日朝には三陸沖に、25日夜には閉塞しながら北海道付近に進む。低気圧や前線に向かって850hPa θ_e 336K以上の下層暖湿気が流入し、大気の状態が非常に不安定となるため、南西諸島と伊豆諸島では、雷を伴った激しい雨の降る所がある。南西諸島では24日は、西～東日本の太平洋側では25日にかけて、土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風に注意。南西諸島と伊豆諸島では25日にかけて、竜巻などの激しい突風にも注意。

② 1項②の低気圧は25日にかけて、日本海を北東進。低気圧から南にのびるシアーラインが西～北日本を通過する。低気圧に向かって850hPa θ_e 318K以上の下層暖湿気が流入し、西～北日本では大気の状態が不安定となる。落雷や突風に注意。北日本では25日は、土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水にも注意。

③ 26日朝には華中～南西諸島を通り日本の東にのびる前線上の華中付近に低気圧が発生して、26日夜には東シナ海に進む。低気圧や前線に向かって850hPa θ_e 336K以上の下層暖湿気が流入し、大気の状態が不安定となり、雷を伴った激しい雨の降る所がある。南西諸島では26日は、土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風に注意。

④ 2項①の低気圧周辺や前線近傍及び2項②の低気圧周辺では、気圧の傾きが大きくなるため、西～北日本では25日にかけて、強い風が吹いて、波が高くしけとなる所がある。西日本の太平洋側では24日は、東日本の太平洋側では25日にかけて、北日本では26日にかけて、強風や高波に注意。

⑤ 26日～27日にかけて、北～東日本にかけて黄砂の飛来が予想されている。今後、実況に留意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSM基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

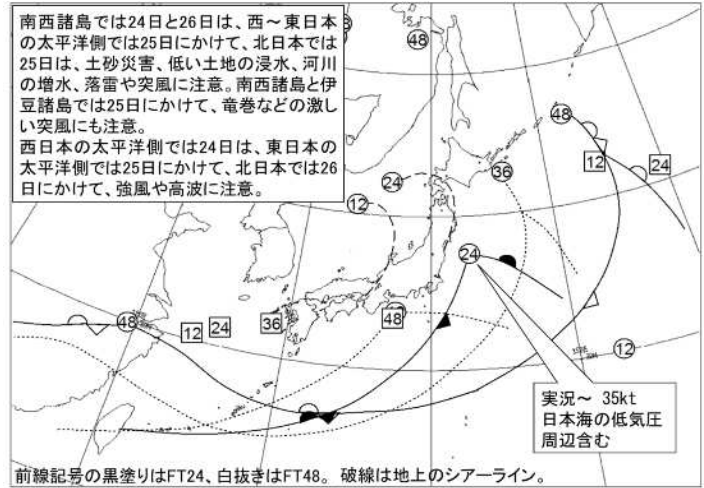
4. 防災関連事項 [量的予報と根拠]

①大雨ポテンシャル(18時からの24時間)：北海道100mm。②

波浪(明日まで)：北海道4、東北・北陸・関東・伊豆諸島・東海3m。

5. 全般気象情報発表の有無

発表の予定はない。



主要じょう乱解説図